

京都市の人口問題と西京区のまちづくり

I 人口問題を考える

1 京都市の人口問題

(1) 大きく減少した京都市の人口

京都市の人口が2年連続で減少数日本一に *総務省人口動態調査

2019年 1,470,957人

2020年 1,463,723人 △7,234人

2021年 1,453,956人 △9,767人

2022年 1,448,964人 △4,992人

(2) 安定していた京都市の人口

1982年 1,475,777人 *最多は1986年の1,479,370人

1992年 1,456,527人

2002年 1,469,061人

2012年 1,475,192人 *2005年に京北町編入(2004年6,749人)

2022年 1,448,964人 *2017年から減少(2016年1,475,909人)

(3) 高い昼夜間人口比

2015年 109.1(昼間人口 1,610,077人、夜間人口 1,475,183人)

2020年 109.0(昼間人口 1,594,930人、夜間人口 1,463,723人)

2 全国の大都市の人口の推移

2010年から2020年の10年間の人口の変化 *日本の人口のピークは2008年の128,084千人
人口が減少した都市(政令指定都市20市中)

新潟市、静岡市、浜松市、京都市、堺市、神戸市、北九州市

3 京都市の人口の推移

京都市の人口減少の要因

2017年以降、自然減が大きくなる(自然減のマイナスは2005年から始まる)

合計特殊出生率 京都市 1.15 *全国は1.34、政令指定都市では札幌市(1.09)に次ぐ低さ

2017年以降、社会減に転ずる(それまでは社会増)

*外国人の転入で統計上は社会減が目立たなかった

4 西京区の人口

(1) 行政区別人口の推移

| | 1982 年 | 1992 年 | 2002 年 | 2012 年 | 2022 年 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 西京区 | 122,024 人 | 146,109 人 | 155,324 人 | 152,278 人 | 146,736 人 |

* 西京区の人口のピークは 2000 年 (155,928 人)

| | | | | | |
|-----|-----------|----------|----------|-----------|-----------|
| 中京区 | 102,606 人 | 92,699 人 | 97,917 人 | 106,979 人 | 109,904 人 |
|-----|-----------|----------|----------|-----------|-----------|

* 近年は、都心区で人口が増加、周辺区で人口が減少

(2) 目立つ社会減

京都市の社会減の大きな要因は西京区

(社会減の数) * 日本人のみ

| | 2022 年 | 2021 年 | 2020 年 | 2016 年 |
|-----|----------|----------|----------|----------|
| 京都市 | △2,867 人 | △1,619 人 | 172 人 | 1,000 人 |
| 西京区 | △1,128 人 | △1,055 人 | △440 人 | △562 人 |
| | (市内 1 位) | (市内 1 位) | (市内 1 位) | (市内 1 位) |

主な転出先

大阪市、東京都区部、三島地域、乙訓地域、南丹地域、南山城地域

主な転入先

左京区

(3) 低い昼夜間人口比

2015 年 78.5 (昼間人口 118,438 人、夜間人口 150,962 人)

2020 年 80.5 (昼間人口 120,584 人、夜間人口 149,837 人) * 宇治市 87.8

(4) 進む高齢化

| | 2010 年 | 2020 年 |
|----------|--------|--------|
| 京都市 | 23.0% | 28.2% |
| 西京区 | 20.2% | 28.2% |
| 洛西支所 | 21.9% | 35.5% |
| 洛西ニュータウン | 25.1% | 43.1% |

* 京丹後市 38.2%、綾部市 39.0%(2020 年)

II 地域の活性化

1 地方(まち・ひと・しごと)創生総合戦略: 2014 年 12 月

(1) 地方(地域)の活性化

① しごとの創生

若い世代が安心して働けるしごと(雇用)の創出

② ひとの創生

安心して子育てができる環境整備による人の定着

③ まちの創生

安心して暮らせる地域づくり。

2 安心して住み続けられるための条件

(1) 生活インフラ

- ① 住宅
- ② 医療
- ③ 福祉

高齢者、子育て、障害者

- ④ 教育
- ⑤ 生活

買い物、日常生活

(2) 都市インフラ

- ⑥ 公共交通
- ⑦ 自然環境

田園、森林、河川、公園

(3) 就労

- ⑧ 働く場所

Ⅲ 西京区の活性化（魅力の向上）に向けて

1 西京区基本計画（2021 年 8 月）

まちづくりの方向性とまちづくりの取組

(1) 人と人とが支え合う区民が主役のまちづくり：9 項目

- ・ 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築
- ・ 子育て・教育環境の充実

(2) 環境と共生するまちづくり：5 項目

- ・ 田園環境の保全と農業の振興

(3) 人と歴史・文化が輝くまちづくり：6 項目

- ・ 地域の魅力を活かした観光の振興
- ・ 学術・医療機関等との連携

(4) 暮らしやすい都市基盤が整うまちづくり：9 項目

- ・ 暮らしを支える公共交通の更なる充実
- ・ 京都の持続可能な発展につながる芸大跡地の活用と洛西ニュータウンの再生・活性化
- ・ 地域経済活動の活性化と職住近接のまちづくり
- ・ 美しい景観とまちの活力につながる住環境の創出

2 西京区の活性化（魅力の向上）を考える

(1) 都市のにぎわい（活性化）

大都市（京都市）の中の行政区

昼夜間人口比率が低い：ベッドタウン的側面

→ 昼間人口を高める
産業の振興、創出

農業、観光、新産業・新事業の創出

食（飲食店も含め）、研究開発、コワーキングスペース、市民農園
杳掛、大原野インターチェンジに近い

京都市立芸術大学跡地の活用方法

賑わい、雇用、利便性の向上

京都市全体で見ても貴重な土地 7.1ha

* 桂イノベーションパーク 3ha

京大桂ベンチャープラザ北館・南館（経済産業省）

研究成果活用プラザ（文部科学省） → 京都大学イノベーションセンター

三洋化成、ファーマフーズ、マイコム

賑わい機能

京都市立芸術大学のサテライト機能

京大、日文研との連携 → 文化拠点（文化の創造）

京都大学大学院工学研究科の活用

桂地区： 大学院生 1,911 人、教員 422 人

(2) 住宅問題

空家率は低い：京都市 12.9%、西京区 9.8%（11 位）

一戸建て住宅が多い：京都市 45.4%、西京区 54.3%（2 位）

持ち家が多い：京都市 53.3%、西京区 57.6%（3 位）

住居の供給（空家の活用、住宅建設）

子育て世代をターゲット

必要に応じて都市計画等の柔軟な見直し

(3) 居住環境

自然環境に恵まれている

子育て世代にとっての居住環境

高齢者にとっての居住環境